

かだめしパートⅢ 小学校算数 1 【数と計算】

年		組		名前	
---	--	---	--	----	--

【1】下に、かけられる数は同じで、かける数が違う小数のかけ算が6種類あります。それぞれを計算したときの積とかけられる数の大きさに着目して、3つのグループに仲間分けしましょう。また、仲間分けした理由も書きましょう。

【府配信問題『学習指導ツール』単元別テスト・小学校算数・5年「小数のかけ算・わり算」】

- ① 1.7×3 ② 1.7×0.3 ③ 1.7×1.2
 ④ 1.7×1 ⑤ 1.7×0.9 ⑥ 1.7×2.5

3つのグループ (①, ③, ⑥) (②, ⑤) (④)

仲間分けした理由 (解答例)

かける数が1より大きいと、その答えはかけられる数よりおおきくなる。
 かける数が1だと、その答えはかけられる数と同じになる。
 また、かける数が1より小さいと、その答えはかけられる数より小さくなるから。

【府配信問題『学習指導ツール』ワークブック問題・小学校算数・「小数のわり算①～③」】

【2】商が36より大きくなるのはどれですか。

- (ア) $36 \div 1.2$
 (イ) $36 \div 0.9$
 (ウ) $36 \div 1$

答え

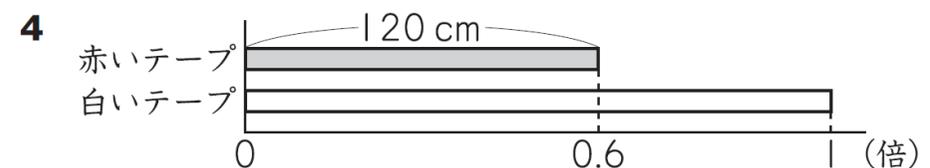
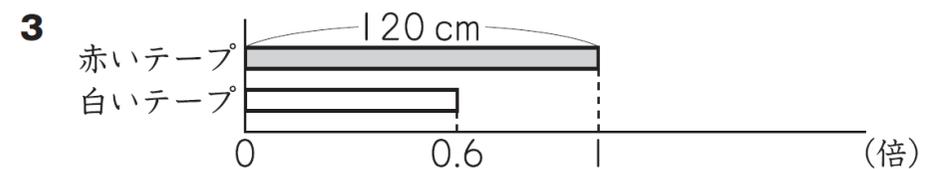
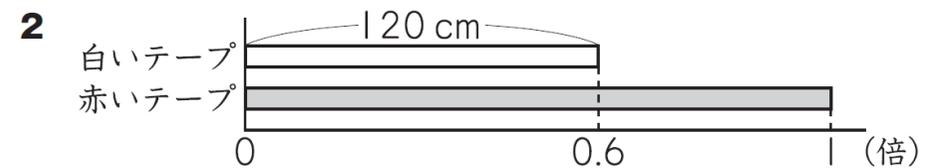
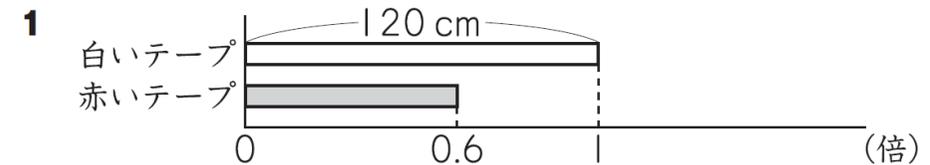
(イ)

【3】赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

【H24全国調査A3】

赤いテープの長さは120 cm です。
 赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。

(1) 赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。
 次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



答え

4

(2) 白いテープの長さを求める式を書きましょう。
 ただし、計算の答えを書く必要はありません。

式

(例) $120 \div 0.6$

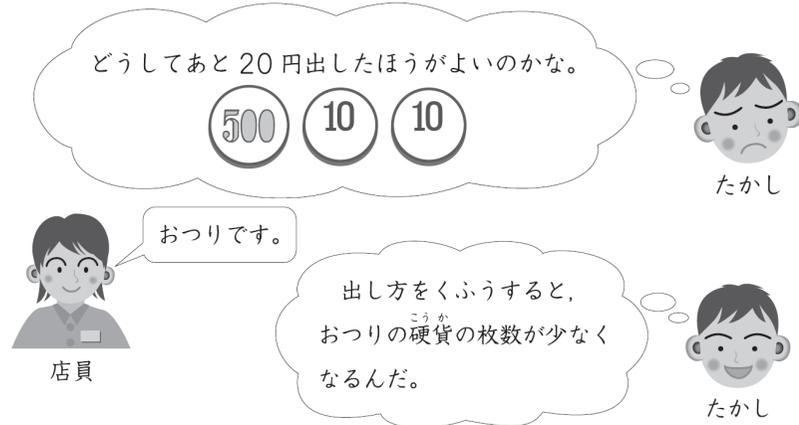
【4】たかしさんは、買い物に行きました。

【H24全国調査B1】

(1) 品物の代金は320円でした。

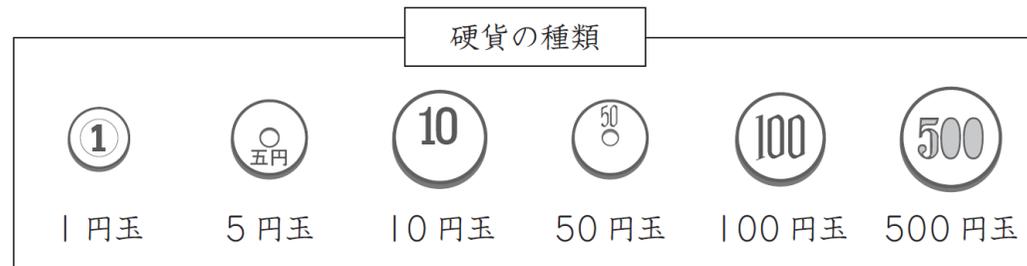
たかしさんは、100円玉3枚がなかったので、500円玉を出しておつりをもらうことにしました。

すると、店員さんから「あと20円ありますか。」とたずねられたので、たかしさんは、500円玉に加えて20円出しました。



たかしさんがもらったおつりは、同じ種類の硬貨が2枚でした。下の6種類のうち、たかしさんがもらった硬貨はどれですか。

答えを書きましょう。



答え

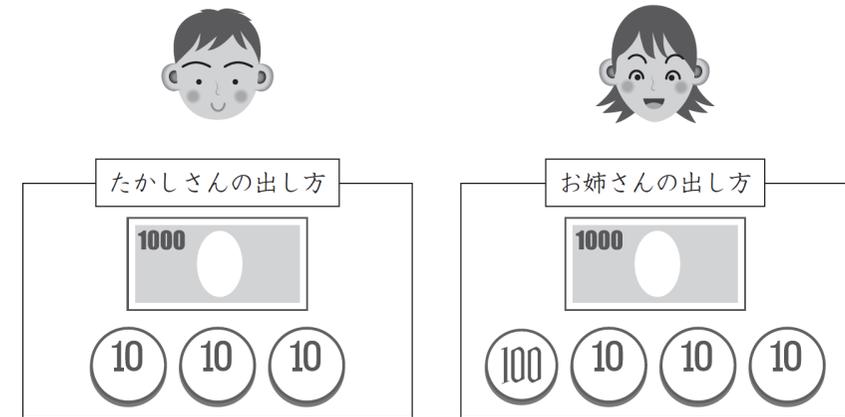
100 円玉

次の日、たかしさんは、お姉さんと買い物に行きました。

(2) 品物の代金は630円でした。

たかしさんは、おつりの硬貨の枚数を少なくするために、お金の出し方をくふうして、1000円札に30円を加えて出そうとしました。

すると、お姉さんが、「1030円に、あと100円加えたら、おつりの硬貨の枚数がもっと少なくなるよ。」と言いました。



たかしさんとお姉さんの出し方では、お姉さんのほうがおつりの硬貨の枚数が少なくなると考えられます。

お姉さんの出し方のほうが少なくなると考えられるわけを、2人のおつりの硬貨の種類と枚数を比べて、言葉と数を使って書きましょう。

答え

(例)

たかしさんの出し方では、 $1030 - 630 = 400$ で、おつりは400円になり、100円玉が4枚です。

お姉さんの出し方では、 $1130 - 630 = 500$ で、おつりは500円になり、500円玉が1枚です。

4枚より1枚のほうが少ないので、お姉さんのお金の出し方のほうがおつりの硬貨の枚数が少なくなると考えられます。